

## 【島根島津プレスリリース】

### 生産ラインの DX 化で、働きやすさと環境負荷低減を推進 —世界中の医療施設向けに、医用 X 線診断装置を製造—



島根島津

島津製作所の製造子会社で、医用 X 線診断装置の一貫生産を行う島根島津株式会社（島根県出雲市斐川町）は、新棟を建設して塗装工程を DX 化し、あわせてロボット溶接を増強します。年間数千台を生産して国内外に出荷する同工場の生産性向上、品質の均一化などを図りながら、社員の働きやすさと環境負荷低減を推進します。

新棟では、RFID\*を活用した IoT によるネットワーク構築を行い、一般撮影システムや X 線 TV システム、回診用 X 線撮影装置など各製品に必要な多品種にわたる部品を、1 つの生産ラインで完全自動化による塗装を行います。部品ごとに異なる作業指示が、自動で各塗装工程に伝わり、工程間の部品移動もすべて自動化し、本工程のスループットを現在の 1.5 倍に強化します。塗装状態の検査も AI 判定に移行し、品質検査機でのデータ監視を導入します。本設備により、部品塗装の 7 割が完全自動化され、作業環境が向上し、作業負担も大きく軽減します。さらに、オーバースプレイされた塗料の回収装置を導入して廃棄率を 25%削減し、環境負荷の低減も図っていきます。

溶接工程にはロボットを追加導入し、スループットを現在の 1.3 倍に引き上げ、板金溶接の生産性を向上させます。品質の均一化を進めるとともに、作業ロボットの技能学習を行っていくことで将来の人手不足や技能継承の課題解決を図っていきます。

当社は、1997 年に島津製作所の医用機器事業部が開発する X 線診断装置の製造子会社として設立し、機械加工、板金、溶接、塗装、組立を一貫生産で行っています。工場の DX 化による生産性向上に合わせ、社員の健康と安全につながる働きやすい職場環境整備と環境負荷低減を進め、世界中の医療機関に高品質な製品を届けるよう努めてまいります。

\* 電波を用いて IC タグの情報を非接触で読み書きする自動認識技術

#### 【新棟および新設備稼働の概要】

新棟：床面積 1500 平方メートル、平屋建て

着工：2022 年 9 月

竣工：2023 年 2 月

稼働予定時期：2023 年 4 月から順次稼働

投資総額：9.7 億円

【島根島津株式会社の概要】

社名：島根島津株式会社

代表取締役社長：藤本滋明

所在地：島根県出雲市斐川町直江 2698 番地

資本金：4 億 5 千万円（島津製作所 100%出資）

設立：1997 年 2 月 24 日

従業員数：312 名（2022 年 3 月時点）

事業内容：島津製作所の医用画像診断機器の製造